

## 発 言 通 告 書

|         |                       |
|---------|-----------------------|
| 発言者氏名   | 大村洋子                  |
| 発言の会議   | 令和5年 8月31日 本会議        |
| 発言の種類   | 質 疑、一般質問、緊急質問、討 論、その他 |
| 質疑等の方式  | 一 括、一問一答              |
| 答弁を求める者 | 市 長                   |

### 【件名及び発言の要旨】

#### 1 青少年の家（みんなの家）関連議案について（議案第 82 号・第 83 号）

- (1) 今回廃止が提案されている施設は老朽化の度合い、利用率、避難所か否か、投票所か否か、ばらつきがある。説明会においての参加者の意見やアンケートには「廃止しないでほしい」という意見も散見された。なぜ、建て替えなどではなく廃止という提案となったのか。市長に伺う。
- (2) 説明会の参加者と市の担当者のやり取りの中では、はっきりと回答できない場面が見受けられた。例えば、放課後の子どもの過ごし方という点で、市は代替施設として放課後子ども教室や放課後児童クラブを提案していたが、利用可能時間や定員の問題があり、質問した保護者は困惑されていた。施設が廃止されても、現在利用している方々が、少なくともそれに代わる施設が用意されて、使い勝手が著しく悪くならず引き続き利用できるという観点について、市長はいかがお考えか。
- (3) 小学校内の放課後子ども教室が代替施設の一つになるという説明だが、学校現場との調整はうまくいっているのか、市長はどのような報告を受けているのか。

## 2 老人デイサービスセンター関連議案について（議案第 84 号・第 85 号）

- (1) 利用者から「急に聞いた」という声があったが、実際に廃止の方向性に関する利用者やその家族、働いている職員への周知について、市長は適正であったとの御認識か。
- (2) 説明がしっかり行われ理解は得られていると市長はお考えか。
- (3) 現在の利用者、職員はすべて納得されて移行ができる運びとなっていると市長は御認識か。
- (4) 今後、本町・鴨居の老人デイサービスセンターの廃止も方向性が出ている。高齢者人口は増えていくのに公的なデイサービスセンターを廃止するのは逆行に感じるが、市長はこの点についてどのような御所見をお持ちか。

## 3 福祉援護センター関連議案について（議案第 89 号）

- (1) 今回の事業の縮小は指定管理者側からの依頼だが、本来、市が懇話会等での意見を集約しながら長期の見通しを立てていれば、事業の改廃についてこれほどの紆余曲折を経ずともやってこれたのではないか。市長はどのような御所見をお持ちか。
- (2) 就労継続支援B型事業の利用者の移行先は確保されていると市長は御認識か。
- (3) 同事業の職員の雇用は守られ新たな職場は担保されていると市長は御認識か。

## 4 事業の廃止に伴う指定管理者への影響について（議案第 84 号・第 85 号・第 89 号）

- (1) 今回横須賀市社会福祉事業団が指定管理者である老人デイサービスセンターと福祉援護センター第一かがみ田苑の廃止が提案されたが、同事業団の経営への影響はいかがか。市としてどのような評価をお持ちか。また、何らかの支援を行ってきたのか、あるいは今後行っていくのか、市長のお考えを伺う。